《Lesson 2》 be 動詞の原形 be の使い方（否定文・疑問文）

be が入る否定文や疑問文は、

文全体が「いったい何の文なのか？」によって決まります。

文全体が「will（助動詞）の文なら、will の否定文や疑問文」を作り、文全体が「一般動詞の文（want to など）なら、do/does/did を使って否定文や疑問文」を作っていきます。

＜例 1＞ **She will be a doctor.** （彼女は医者になるでしょう）

↓ will（助動詞）の文なので

【否定文】She will not (won't) be a doctor. ＜彼女は医者にはならないでしょう＞

【疑問文】Will she be a doctor? ＜彼女は医者になるつもりなのですか＞

→ Yes, she will. / No, she won't (will not).

＜例 2＞ **He wants to be popular.**（彼は人気でいたいです）

↓ 一般動詞の文なので

【否定文】He does not (doesn't) want to be popular. ＜彼は人気にはなりたくないです＞

【疑問文】Does he want to be popular? ＜彼は人気になりたいのですか＞

→ Yes, he does. / No, he doesn't (does not).

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。